

企画展

MOSAIC  
TILE  
MUSEUM  
Tajimi

# 青の 誘惑

タイルにみる  
青の世界

2024.9.14 <sup>SAT</sup> — 2025.3.9 <sup>SUN</sup>

- | 会場 | 多治見市モザイクタイルミュージアム 3F ギャラリー
- | 休館日 | 月曜日 (休日の場合は翌平日) / 2024年12月29日~2025年1月3日
- | 開館時間 | 午前9時~午後5時 (入館は午後4時30分)
- | 観覧料 | 一般 310円、団体 250円 (常設展観覧料でご覧いただけます)  
高校生以下無料、障がい者手帳をお持ちの方及び付き添い1名様無料
- | 主催 | 多治見市モザイクタイルミュージアム

- 協力企業 -
- ICOTRYOWA 各種製陶株式会社 株式会社カトジ
  - X'S 株式会社 エクシズ GIZAWA MOSAIC WORKS
  - 株式会社カネキ製陶所 KAWA VRAVO SU-GY CERAMIC TILE
  - CERA MESSE TMSV TN Corporation TChic TONO Neo NAGAE TOGYO
  - NAGOYA MOSAIC NITCO 市美堂 REPPU



# 青のタイルが織りなす、 幻想的な空間

本展は、『タイルの「面」を立ち上げ、そこに包まれるような空間をつくること』を出発点としています。

タイルとは本来、一定の広がりをもった「面」として見ることでその真価を発揮します。そうしたタイル本来の魅力を建築物の施工や企業のショールームとは別の方法で伝えることができないかという観点から、25社を超えるタイルメーカー・商社等に展覧いただいた青色タイルをホワイトキューブの内部全面にあしらい、現代タイルの新たな魅力を提示します。

ではなぜ「青」なのか。歴史的には美濃焼タイルにおいては、第二次世界大戦以降、アメリカの戸建住宅に設置するプール向けに青色タイルを数多く輸出してきました。それらは「プールタイル」というジャンル呼称を与えられるほど生産され続け、現在に至っています。

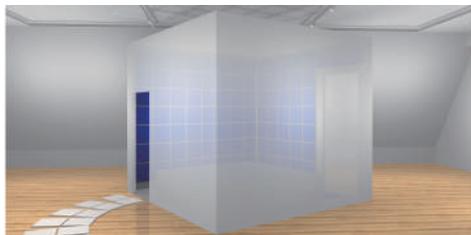
また近年、パステル調のモダンなタイルに代わって、やきものらしさを醸し出した美濃焼タイルが国内外から改めて着目され、「青」の発色に力を入れるメーカー・商社が増えてきています。美濃焼タイルの歴史にも関わり深く、かつ今再注目すべき色であると考えました。

ギャラリー外展示では、収蔵品のなかから本業敷瓦や平成時代に復刻したマジョリカタイル、作家によるタイル作品など、明治から現代までのさまざまな青色タイルを辿ります。とりわけ当地域で施陶磁器モザイクタイルを開発し、その量産体制を確立した山内逸三は個性的な青色タイルを数多く残しています。

ギャラリー内のホワイトキューブを彩るタイルは、まさに現代美濃焼タイルの「青」を総結集した展示となります。今回は建材としてではなく、展示の主役としてタイルを捉え、一枚一枚異なるパネルを出展いただきました。一体どのようなタイルが展覧されるのか、渾然一体となった各企業のタイルの連なりを体感しながら、目の前に広がる「青の世界」をお楽しみいただけます。

▶ホワイトキューブ  
室内全面に25社を超える企業が出展する青色タイルが張り込まれる

※写真はイメージです



## 企画展「青の誘惑 - タイルにみる青の世界 -」

会場 | 多治見市モザイクタイルミュージアム 3F ギャラリー

会期 | 2024年9月14日(土) ~ 2025年3月9日(日)

休館日 | 月曜日(休日の場合は翌平日) / 2024年12月29日~2025年1月3日

開館時間 | 午前9時~午後5時(入館は午後4時30分)

観覧料 | 一般 310円、団体 250円(常設展観覧料でご覧いただけます) 高校生以下無料、障がい者手帳をお持ちの方及び付き添い1名様無料

主催 | 多治見市モザイクタイルミュージアム

協力 | 株式会社アイコットリョウ / 株式会社エクシズ / 株式会社オザワモザイクワークス / 各務製陶株式会社 / 株式会社カクジン / 株式会社カネキ製陶所 / 株式会社加納 / 株式会社国代耐火工業所 / 株式会社コーワ / 三協製陶株式会社 / 杉浦製陶株式会社 / 有限会社鈴研陶業 / 鈴製陶株式会社 / 株式会社セラメッセ / 株式会社谷口製陶所 / 玉川窯業株式会社 / 株式会社TNコーポレーション / 株式会社TChic / 東濃窯業株式会社 / 長江陶業株式会社 / 名古屋モザイク工業株式会社 / 株式会社日東製陶所 / 久松製陶株式会社 / 有限会社丸万商会 / 株式会社MIZNO作善堂 / 立風製陶株式会社 / 株式会社了山

アクセス | 【公共交通機関】 名古屋からJR中央本線下り、多治見・中津川方面行き、多治見駅下車。  
多治見駅から東鉄バス(約20分の乗車)、東車口行き、羽根行きにて、モザイクタイルミュージアム下車。  
多治見ICから約25分。土岐南多治見ICから約15分。\*駐車場は笠原交流センターなどの合同駐車場です。  
【自動車】

〒507-0901 多治見市笠原町 2082番地の5 | TEL: 0572-43-5101 FAX: 0572-43-5114 | <https://www.mosaic-tile-museum.jp>



MOSAIC TILE  
MUSEUM  
Tajimi